

NPR

第122期 中間報告書

2017年4月1日 ▶ 2017年9月30日

Contents

株主の皆様へ

セグメント別事業概要

連結財務諸表

トピック

会社情報



日本ピストンリング株式会社

証券コード：6461



取締役社長 山本 彰

ごあいさつ

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

当中間期における世界経済は欧米における政策の不確実性等の高まりによる先行き不透明感があるものの、中国及び欧米を中心に、総じて緩やかな回復基調となりました。

当グループは、持続的な成長を図るべく、2018年3月期を最終年度とした第六次中期経営計画にて、「100年企業への土台作り～マーケティング&イノベーションによる企業価値向上～」を基本方針とし、市場構造の変化や顧客ニ

ズに迅速に対応し、事業基盤の拡充による企業価値の向上に取り組んでおります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

当中間期の業績についての概要

当グループが関連する自動車業界におきましては、グローバルな生産台数が増加基調にあり、需要が底堅く、売上高は275億7百万円（前年同期比7.1%増）となりました。

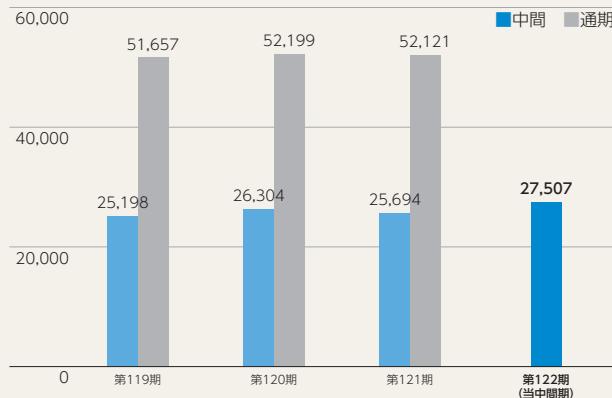
損益面におきましては、原材料の高騰影響等があったものの増産影響等により、営業利益は15億9百万円（前年同期比2.5%増）となりました。また、為替差益の発生により、経常利益は16億82百万円（前年同期比33.5%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は11億55百万円（前年同期比20.3%増）となりました。

なお、競争力の向上や収益拡大のための設備投資や研究開発費へ充当するため、当中間期の配当金については見送らせていただきます。

■ 決算ハイライト

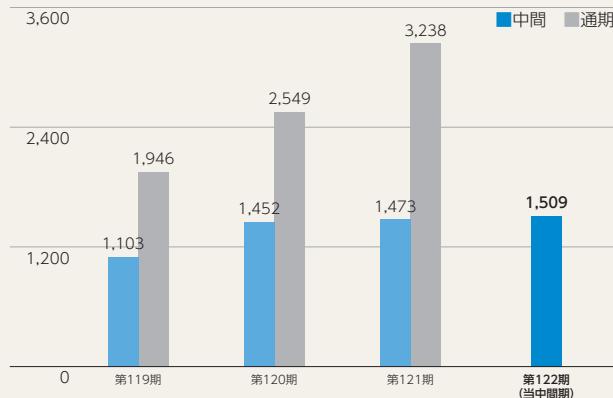
売上高

(単位：百万円)



営業利益

(単位：百万円)



通期の見通しについて

世界経済は、全体として緩やかな回復が期待されるものの、中国をはじめとするアジア新興国等の経済環境の変化や、欧米での政策動向等により依然不透明な状況にあります。

当グループが関連する自動車業界におきましては、新興国を主体とした海外市場での需要増等を背景に自動車生産台数の増加は今後も続くものと思われまます。また、世界的な環境問題への対応強化から、低燃費、排ガス規制等へのニーズは今後一層高まるものと考えられます。

このような状況のなか、当グループは国内外自動車メーカーとの取引拡大や、主要製品における革新的モノづくりによる原価低減の推進等により、2018年3月期通期の見通しを売上高525億円、営業利益33億円、経常利益31億円、親会社株主に帰属する当期純利益21億円にて予想しております。なお、下半期の為替レートは1USドル108円、1ユーロ115円を想定しております。

年間配当金につきましては、業績に応じた適切かつ安定的な利益配分を考慮し、1株につき70円を予定しております。

今後の事業展開について

当グループはピストンリング、バルブシート等の主要製品において新たな需要を取り込むことや、当グループの固有技術を生かした新規事業への展開を図るべく、第六次中期経営計画にて以下の重点施策に取り組んでおります。

【基本方針】

100年企業への土台作り
～マーケティング&イノベーションによる企業価値向上～

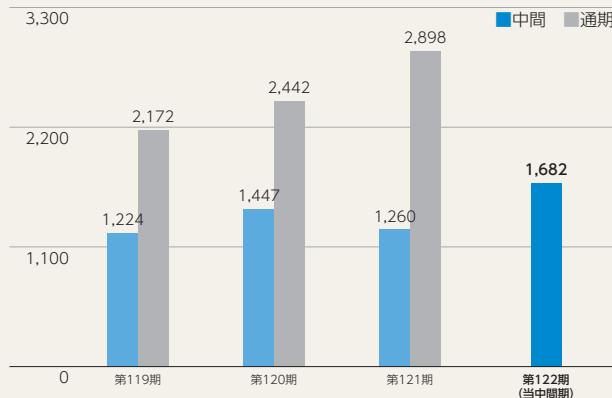
【重点施策】

- (1) 製品差別化による戦略機種の獲得
- (2) 革新的モノづくりの推進
- (3) 新製品（非自動車エンジン部品）の事業化推進
- (4) 人材育成強化による「世界最高品質の追求」
- (5) CSR活動の強化

当グループは国内外自動車メーカーへの拡販を推し進めてまいります。

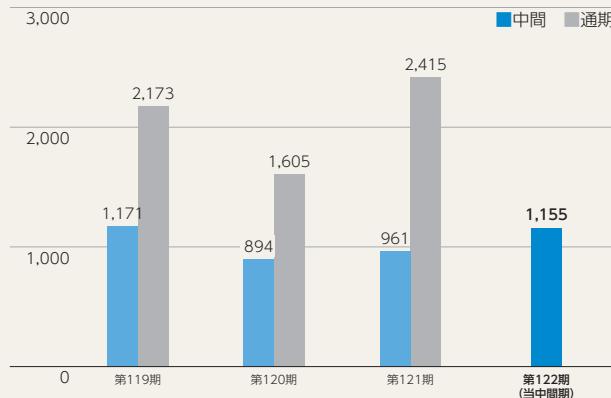
経常利益

(単位：百万円)



親会社株主に帰属する中間（当期）純利益

(単位：百万円)



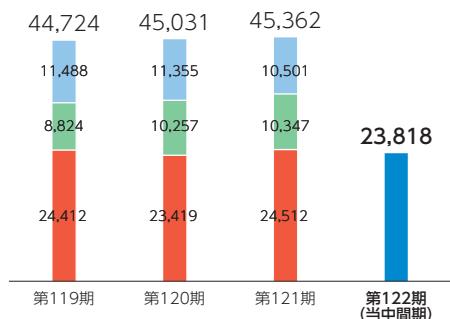
セグメント別事業概要

自動車 関連製品 事業

(売上高構成比)
86.6%

売上高の推移

(単位：百万円)



グローバルでの自動車生産台数が増加基調にあり、売上高は238億18百万円と前年同期比6.4%増となりました。

ピストンリング **13,644**百万円(+13.1%)

バルブシート **5,292**百万円(+4.4%)

その他自動車
関連製品 **4,881**百万円(▲7.0%)

船用・ その他の 製品事業

(売上高構成比)
3.8%

売上高の推移

(単位：百万円)



産業機械用製品等の需要拡大により、売上高は10億54百万円と前年同期比9.9%増となりました。

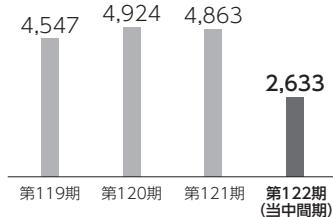
売上高
275億7百万円
(前年同期比7.1%増)

その他

(売上高構成比)
9.6%

売上高の推移

(単位：百万円)



商品等の販売事業における売上高は、26億33百万円と前年同期比11.8%増となりました。

連結財務諸表

■ 中間連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

	当中間期末	前期末
	2017年9月30日現在	2017年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	27,028	25,824
固定資産	40,695	41,310
有形固定資産	31,017	31,700
無形固定資産	811	791
投資その他の資産	8,866	8,819
資産合計	67,723	67,135
(負債の部)		
流動負債	24,203	22,619
固定負債	12,519	13,633
負債合計	36,723	36,252
(純資産の部)		
株主資本	27,788	27,168
資本金	9,839	9,839
資本剰余金	5,875	5,875
利益剰余金	12,402	11,781
自己株式	△328	△328
その他の包括利益累計額	2,585	3,167
新株予約権	74	56
非支配株主持分	550	490
純資産合計	30,999	30,883
負債・純資産合計	67,723	67,135

■ 中間連結損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

	当中間期	前中間期
	自 2017年4月 1日 至 2017年9月30日	自 2016年4月 1日 至 2016年9月30日
売上高	27,507	25,694
売上原価	21,162	19,677
売上総利益	6,344	6,017
販売費及び一般管理費	4,834	4,544
営業利益	1,509	1,473
営業外収益	333	193
営業外費用	160	406
経常利益	1,682	1,260
税金等調整前中間純利益	1,682	1,260
法人税、住民税及び事業税	496	418
法人税等調整額	△36	△145
中間純利益	1,222	987
非支配株主に帰属する中間純利益	67	26
親会社株主に帰属する中間純利益	1,155	961

■ 中間連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：百万円)

	当中間期	前中間期
	自 2017年4月 1日 至 2017年9月30日	自 2016年4月 1日 至 2016年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,146	1,951
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,701	△2,145
財務活動によるキャッシュ・フロー	473	342
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9	△586
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△90	△437
現金及び現金同等物の期首残高	4,634	4,112
現金及び現金同等物の中間期末残高	4,543	3,675

(注) 各連結財務諸表の詳細につきましては、当社ホームページ掲載の決算短信をご覧ください。(ホームページアドレスは裏表紙で参照)

「東京モーターショー2017」に出展

10月27日から11月5日まで東京ビッグサイトにて開催された第45回東京モーターショーに出展いたしました。

今年は当社女性社員の意見を多く取り入れ、緑と水色を基調に自然をイメージしたブースにおいて、「環境にやさしい製品」を展示いたしました。

当ブースでは、環境に配慮した製品開発の取り組みとして、DLC(Diamond Like Carbon)でコーティングされたピストンリングや日野自動車株式会社と共同特許を取得したディンプルライナを紹介し、摩擦力を低減してエンジンの燃費向上を実現する技術に多くの方々から関心を寄せていただきました。

また、メタモールド製品では、パワーステアリングや電動ブレーキ用部品をはじめとする高品質かつ多種多様な部品も紹介いたしました。



【メタモールド製品について】

金属粉末射出成形法により、形状の自由度・寸法精度の高い製品で、産業機械部品など幅広い分野で使用されております。

■ 会社の概要

商号	日本ピストンリング株式会社
本社所在地	埼玉県さいたま市中央区本町東5-12-10
設立	1934年(昭和9年)12月20日
資本金	98億39百万円
従業員数	連結:2,966名 個別:692名
主な事業内容	ピストンリング、バルブシートをはじめとした国内外の自動車関連製品・陸船エンジン用組付・補修部品ならびに医療機器、その他各種部品の製造・販売

■ 株式の状況

発行可能株式総数	19,545,000株
発行済株式の総数	8,374,157株
株主数	7,217名

■ 株式分布状況



■ 役員

取締役社長	山本 彰	執行役員	太田 一人
取締役副社長	大石 滋	執行役員	津田 信徳
常務取締役	坂本 裕司	執行役員	小川 義孝
常務取締役	高橋 輝夫	執行役員	小野寺義男
取締役	藤田 雅章	執行役員	越場 裕人
取締役	楊 忠亮	執行役員	梶原 誠人
取締役	南雲 良介	執行役員	犬塚 秀昭
取締役	石井 歓	執行役員	西牟田英樹
常勤監査役	佐藤 嘉博		
常勤監査役	平石 巖		
監査役	石橋 博		
監査役	高井 治		
監査役	木村 博紀		

■ 大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
トヨタ自動車株式会社	552	6.71
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	512	6.23
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	318	3.87
朝日生命保険相互会社	259	3.15
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	208	2.53
日本ピストンリング持株会	171	2.09
株式会社新生銀行	165	2.01
東京海上日動火災保険株式会社	157	1.91
三菱UFJ信託銀行株式会社	148	1.80
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口5)	146	1.78

(注) 1. 自己株式(149千株)は上記記載から除いております。
2. 持株比率は自己株式(149千株)を除いて計算しております。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金 受領株主確定日	3月31日
中間配当金 受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL. 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先: 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う。 公告掲載URL http://www.npr.co.jp/ ただし、電子公告による公告をすることができない事 故、その他のやむを得ない事由が生じた場合には、日 本経済新聞に公告いたします。

お知らせ (ご注意)

1. 株主様の住所変更、配当金の振込みのご指定、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。
4. 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関の事務拠点の移転に伴い平成29年8月14日付にて上記の通り変更しております。



日本ピストンリング株式会社

〒338-8503 埼玉県さいたま市中央区本町東5-12-10
TEL. 048-856-5011 FAX. 048-856-5035 <http://www.npr.co.jp/>

当社ホームページのご紹介



会社案内、製品紹介をはじめ、最新のIR情報、技術情報、環境への取り組み状況等を適時掲載しております。

<http://www.npr.co.jp/>

